

名古屋別院（東別院）戦後80年特別企画

※各日の詳細は裏面を参照ください

人生 LIFE DESIGN LECTURE 講座

戦没画学生慰霊美術館
無言館

期 日

9/20(土)～9/25(木)
6日間連続開催

時 間

各日17:00～19:45頃
ドキュメンタリー映画上映
&ティーチン

会 場

対面所
東別院境内／本堂東側

参加費

各日1,000円(予約不要)
※大学生以下無料

戦後80年 内田也哉子ドキュメンタリーの旅

戦争と対話

全6作シリーズ

旅人 内田也哉子 / 対話人 森山直太郎、YOU、青木理、坂本美雨、岸本聡子、佐喜真道夫

企画・プロデュース：阿武野勝彦 ディレクター：中村育子 プロデューサー：手塚孝典、三瓶祐毅 映画担当：笠原公彦 テーマ音楽：吉俣良 製作：信越放送・日本映画放送
配給：信越放送 配給協力：ホレホレ東中野 <https://sbc21.co.jp/tv/documentarynotabi/>

「6本のドキュメンタリー番組を手がかりに、素敵な言葉を持つ人たちと語りました」



※写真掲載される対話人は映画の出演者であり本企画のティーチンに登場しません

旅の起点は、「無言館」 テーマは「戦争と対話」

2024年、長野県上田市の戦没画学生の作品を集めた美術館「無言館」の共同館主となった内田也哉子。信越放送が1986年～2024年までに制作した過去のドキュメンタリー番組を手掛かりに、旅に出た。森山直太郎とは戦時中の画学生たちが胸に秘めていたであろう思いと表現の可能性を、YOUとは一方向に流れ始めた時の空気の壊し方を、青木理とは日朝関係に流れる感情のエポックを、坂本美雨とは命への慈しみを、岸本聡子とは静いと和解、佐喜眞道夫とは大作「沖縄戦の図」を前にアートの可能性を語り合う。戦後80年の日本、これはあなたへの伝言です。

全6作シリーズ



9/20(土)

#1

『無言館・レクイエムから明日へ』(96分)
対話 / フォークシンガー 森山直太郎

「あの画学生たちも絵を描いている時は無心になれたと思う、ただ我を忘れて。」

長野県上田市 戦没画学生慰霊美術館無言館
共同館主の窪島誠一郎と巡りながら、その願いを受け止めていく

ティーチイン

ゲスト：池上英樹 (SBC信越放送)
村瀬史憲 (名古屋テレビ放送) 他



9/21(日)

#2

『少年たちは戦場に送られた』(73分)
対話 / タレント YOU

「正しいかどうか分からなくても、おかしいって感じたら言ったほうがいいと思う。」

長野県中野市 高野辰之記念館
平和なふるさとから、満州へ送られた少年がいた

ティーチイン

ゲスト：手塚孝典 (SBC信越放送)
荒山 淳 (昭区和恵林寺副住職) 他



9/22(月)

#3

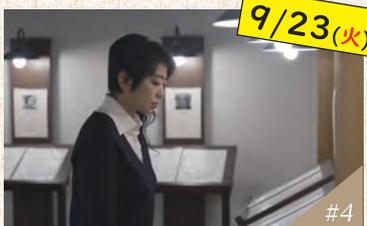
『再会～平壤への遠い道～』(73分)
対話 / ジャーナリスト 青木理

「あの時、戦後日本の価値観が逆転して、北朝鮮へのバックラッシュが始まった。」

長野市松代町 象山地地下壕
記憶の風化に抗うかのように続く薄暗い壕を進む

ティーチイン

ゲスト：手塚孝憲 (SBC信越放送) 他



9/23(火)

#4

『遼太郎のひまわり』(91分)
対話 / ミュージシャン 坂本美雨

「国っていう大きな単位で捉えずに、個人として出会っていくことが大事だと思う。」

長野県阿智村 満蒙開拓平和記念館
過酷な逃避行と収容所での凄惨な日、心の奥底に激む記憶に触れる

ティーチイン

ゲスト：手塚孝典 (SBC信越放送) 他



9/24(水)

#5

『78年目の和解』(88分)
対話 / 東京都杉並区長 岸本聡子

「たくさんの正しさを調整する“修行”の先に、不思議と方向性が出てくる。」

東京都千代田区 靖国神社
国のために殉じた者を悼む神社、国と戦争と私たち

ティーチイン

ゲスト：中村育子 (SBC信越放送) 他



9/25(木)

#6

『いのちと向き合う』(97分)
対話 / 佐喜眞美術館・館長 佐喜眞道夫

「人が人を殺す戦争、その地獄を乗り越えるために描いたのが『沖縄戦の図』です。」

沖縄県 平和の礎・チビチリガマ・辺野古
戦争が、過去から現在、未来へ続く、沖縄の現実

ティーチイン

ゲスト：中村育子 (SBC信越放送)
荒山 淳 (昭区和恵林寺副住職) 他